

Rotary
第2770地区



Governor's

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2770

Monthly Letter

6月 ローターリー親睦活動月間



**UNITE
FOR
GOOD**

よいことのために手を取りあおう

Vol.12

06

month
2026

**UNITE
FOR
GOOD**

よいことの
ために
手を取りあおう



ガバナーご挨拶

2025-2026年度
第2770地区 ガバナー
熊木 雄太郎 (戸田)

国際ロータリーでは6月を「ロータリー親睦活動月間」と定めております。親睦はクラブ活性化の原点であり、友情を深め、互いを理解し合うことが、より良い奉仕活動へとつながってまいります。今年度、地区内各クラブにおいて実践されてきた数々の奉仕活動も、会員同士の強い絆と信頼関係があってこそ成し遂げられたものであると感じております。

今年度は地区内10クラブにおいて周年記念式典が開催され、それぞれのクラブが長年にわたり地域社会に貢献されてきた歴史と伝統、そして未来への力強い決意を共有する素晴らしい機会となりました。各クラブの創意工夫に満ちた記念事業や式典に触れ、改めて第2770地区の大きな可能性と団結力を実感いたしました。

また、各グループのIMをはじめ、多くの行事において、会員の皆さまが積極的に参加され、友情を深めながら学び合う姿に、ガバナーとして大きな喜びと感謝の気持ちを抱いております。今年度メッセージ「よいことのために手を取りあおう」という思いも、皆さま一人ひとりのご理解とご協力によって、着実に形となっております。

年度も残すところ、職業奉仕プログラム、最終諮問委員会、そして台湾・台北で開催される国際大会と地区ナイトを残すのみとなりました。国際大会では、世界中のロータリアンとの交流を通じ、ロータリーの友情と奉仕の輪をさらに広げていただければ幸いです。

そして、若輩者である私がここまでガバナーを務めることができましたのも、地区内全ての会員の皆さまの温かいご支援とご協力のおかげでございます。就任当初は不安ばかりでしたが、多くのパストガバナーの皆さまから「ガバナーは一年かけてガバナーになるんだよ」と励ましのお言葉をいただき、その言葉に支えられながら今日まで歩んでまいりました。皆さまとの出会いと友情、そして多くの学びは、私にとってかけがえのない財産となっております。

一年間、クラブ会長・幹事をはじめ、地区役員、各部門含む地区チームのみなさま、そして全ての会員の皆さまに心より感謝申し上げます。結びに、各クラブのさらなる発展と、会員皆さまのご健勝、ご多幸を心より祈念申し上げ、6月号のご挨拶とさせていただきます。

UNITE FOR GOOD

よいことの
ために
手を取りあおう



地区幹事ご挨拶 一年を振り返って

2025-2026年度
第2770地区 地区幹事
福永 高士 (戸田)

2025-26年度、国際ロータリーのテーマ『UNITE FOR GOOD(よいことのために手を取りあおう)』のもと、国際ロータリー第2770地区地区幹事という大役を務めさせていただきました。この一年を振り返りますと、多くの皆さまとの出会いと支えに恵まれ、感謝の気持ちでいっぱいです。

地区幹事としての役割は、ガバナーを支えながら地区とクラブをつなぎ、円滑な地区運営を行うことであります。その中で、地区チームの皆さまをはじめ、地区内66クラブの会長・幹事・会員の皆さまより温かいご理解と多大なるご協力を賜りましたことに、心より御礼申し上げます。皆さまのお力添えがなければ、この一年を無事に終えることはできませんでした。

三大セミナーからはじまり、各種セミナーや地区大会、公式訪問、委員会活動など、多くの地区行事が開催されました。それぞれの場面において、多くのロータリアンが「よいことのために手を取りあおう」というテーマを实践され、奉仕への熱意と仲間への思いやりに触れる機会となりました。特に、クラブを超えた交流や協力の姿は、まさにロータリーの魅力そのものであり、地区の結束力を強く感じた一年でもありました。

また、地区幹事として多くの経験を積ませていただく中で、改めて感じたのは、ロータリー活動は一人では成り立たず、多くの仲間との信頼関係によって支えられているということです。時には課題や調整に追われる場面もありましたが、そのたびに地区チームの皆さま、各クラブの皆さまから温かい励ましやご協力をいただき、前に進む力をいただきました。

この一年を通じて築かれたつながりや友情、そして奉仕の輪は、今後の第2770地区のさらなる発展へとつながっていくものと確信しております。微力ではございましたが、地区幹事として皆さまとともに歩ませていただけたことは、私にとって大きな誇りであり、かけがえのない財産となりました。

結びに、本年度を支えてくださいました熊木ガバナーをはじめ、地区役員・ガバナー補佐、各部門委員長・地区チームの皆さま、そして地区内66クラブすべての会員の皆さまに、改めまして深く感謝申し上げます。皆さまの今後ますますのご活躍と、第2770地区のさらなる発展をご祈念申し上げ、一年間のお礼の言葉とさせていただきます。本当にありがとうございました。





一年を振り返って

2025-2026年度
第1グループ ガバナー補佐
大倉 浩 (浦和ダイヤモンド)

2025～26年度2770地区の第1グループガバナー補佐として、熊木ガバナー、福永幹事、第2から第12の各ガバナー補佐には、1年間大変御世話になりました。

熊木ガバナー、福永幹事は無論、皆様とても人柄の良い方々ばかりで、本当に楽しい1年間でした。

また同じ第1グループの会長、幹事様たちには、2月13日のIMや、財団や奨学金をはじめとする各種活動でも大変御世話になりました。最後に、今回のガバナー補佐のまとまりの良さは中里公造地区ラーニングファシリテーターに1年前から何度も御講議をいただき、その後の懇親会も含めて、改めてロータリー活動の素晴らしさを学ばせていただく機会となり、改めて厚く御礼を申し上げます。

三枝次年度に対しても積極的にご協力していきたいと思っております。



一年を振り返って

2025-2026年度
第2グループ ガバナー補佐
上野 拓也 (浦和北東)

熊木雄太郎ガバナー年度において、ガバナー補佐として1年間活動させていただき、これもひとえに、熊木ガバナーのお人柄と的確なご指導の賜物であると深く感じております。また、パストガバナー中里公造様(ラーニングファシリテーター)よりご指導を賜り、ならびに同期のガバナー補佐の皆様にご大変お世話になり、心より感謝申し上げます。さらに、第2グループの会長・幹事・会員の皆様より多大なるご協力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。あわせて、ガバナー公式訪問および表敬訪問に際し、各クラブの皆様にご温かくお迎えいただきましたことにも、重ねて御礼申し上げます。

第2グループの会員数は期首194名でスタートいたしました。各クラブ会長・幹事の皆様のお力添えにより、純増9名となりました。最終的な結果につきましては引き続き見守る必要がございますが、クラブの未来に向けた確かな前進であると感じております。会長幹事会におきましても、終始有意義で和やかな雰囲気の中、回を重ね、充実した運営を行うことができました。

第2グループ合同奉仕事業として、5月23日(土)午前10時より北浦和公園にて清掃活動を実施し、50名を超えるご参加をいただき、公園内の美化に寄与することができました。

またIMにつきましては、第1・第2グループ合同IM(テーマ:「生きることをあきらめない」)のもと、第1グループ大倉浩ガバナー補佐、高橋宣治実行委員長、志村徹ガバナー補佐幹事、第2グループ山中重則実行委員長、山田直輝ガバナー補佐幹事をはじめ、IM副実行委員長ならびに10クラブの会員の皆様のご尽力により開催されました。元プロボクサー坂本博之氏のご講演では、幾多の困難を乗り越え夢を実現された歩みに深い感銘を受け、奉仕の精神と生き方について改めて考える大変貴重な機会となりました。おかげさまで、IMも盛会のうちに無事終了することができました。

さて、次年度のガバナー補佐に瀧沢努様(さいたま新都心RC)が就任されます。瀧沢様のご活躍に大いに期待申し上げますとともに、皆様の変わらぬご支援をお願い申し上げます。結びに、皆様のご健勝とクラブのさらなるご発展を祈念申し上げ、ガバナー補佐としてのご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。





一年を振り返って

2025-2026年度
第3グループ ガバナー補佐

中村 芳彦 (さいたま櫛)

熊木雄太郎ガバナー年度ガバナー補佐として補佐研修会から始まり、ガバナー補佐会議・地区合同会議と進み、私にとっての一年間は貴重な体験と緊張感のある活動や有意義な出会いがあり、新たなロータリーの姿を発見し携わる貴重な経験をさせていただきました。また熊木ガバナーのロータリーに対する情熱と熱意を、グループの各クラブに伝えようとクラブ訪問をさせていただいた際には各クラブの皆様が温かく迎えてくださりました。そしてガバナーとのつなぎ役に徹し、交流を重ねることがクラブ活性化に繋がっていくと確信をしました。UNITE FOR GOOD「よいことのために手を取りあおう」を常に一年間考えながら

グループの各クラブに寄り添うことにより、日に日に会長・幹事のクラブ運営が安定し、素晴らしい活動をされている姿を見るたびに心が熱くなりロータリーの情熱を感じました。多くの出会いと多くのロータリアンの皆様に支えられ、初顔合わせから強い信頼関係を築くことができ楽しい1年11か月でした。そして、熊木ガバナーを中心に同期のガバナー補佐との繋がりが今後も末長く続くことでしょう。またホストクラブとしてサポートして私を支えてくださった、さいたま櫛ロータリークラブの皆様、小川松雄補佐幹事に心より感謝申し上げます。

結びに、熊木ガバナー、中里ラーニングファシリテーター、同期のガバナー補佐、福永地区幹事、地区役員の皆様大変お世話になりました。ありがとうございました。



一年を振り返って

2025-2026年度
第4グループ ガバナー補佐

真中 潤治 (大宮北東)

2025～26年度国際ロータリー第2770地区第4グループガバナー補佐を務めさせていただき、この一年が大変充実した日々であったと感じております。各クラブが地域社会の為、仲間と共に、それぞれの立場で真摯に活動されている姿に、多くの学びと感動をいただきました。

今年度のテーマ「UNITE FOR GOOD—良いことのために手を取りあおう」のもと、第4グループの皆様が心をつにし、IMや各種事業、奉仕活動に積極的に取り組んでいただきましたことに心より感謝申し上げます。

特に、例年と趣向を変えシンフォニークルーズで開催したIMや、IM記念チャリティーボーリ

ング大会では、多くの皆様のご協力のおかげで、笑顔あふれる素晴らしい時間を共有させて頂きました。

ガバナー補佐という立場ではありましたが、皆様の温かいご理解とご協力をいただき、一年を終えられますことを深く感謝申し上げます。

この一年で築かれた友情と絆が、今後さらに大きな力となり、第4グループ、国際ロータリー第2770地区の発展へとつながっていくことを願っております。

一年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。



一年を振り返って

2025-2026年度
第5グループ ガバナー補佐
松本 安永 (鴻巣水曜)

7月、ガバナー補佐としてのスタートはグループ内クラブの訪問から始まりました。第5グループは、自分の所属クラブを含めて9クラブあります。その内2クラブが7月にガバナー公式訪問が予定されており、上尾北RCについては第一例会が公式訪問前の事前訪問、第二例会が公式訪問となる為、第一例会前に北本のファミレスで事前訪問前に打つ合わせの為に会うことがスタートとなりました。

7月自クラブの第一例会は出席し、その後ガバナー公式訪問を含め全クラブの訪問を7月中に

済ませました。自分自身ロータリー歴は31年という事もあるか、どのクラブにも顔なじみの会員がおり温かく迎えていただきました。

11月は地区大会がありましたが、その月26日の桶川RC、27日の北本RCで全9クラブのガバナー公式訪問を終えることができました。

2月に開催したIM、4月に開催したIMゴルフでは各クラブ会長さんにはクラブPRのパワーポイントの資料作り、当クラブの実行委員会のメンバーには多くの負担をかけ、感謝しております。残りの期間、最後まで気を引き締めて勤めあげたいと思います。



一年を振り返って

2025-2026年度
第6グループ ガバナー補佐
大東 悦巳 (春日部西)

本年度、国際ロータリー第2770地区第6グループのガバナー補佐としての任を拝命し、気がつけばあっという間の一年が過ぎました。

まずは、様々なご指導を賜りました熊木ガバナーをはじめ、地区役員の皆さま、そして年度が始まる約1年前から有意義な研修を行い、1年間寄り添い続けてくださった中里地区ラーニングファシリテーターに、心より感謝申し上げます。

また、第6グループ各クラブの会長・幹事・会員の皆さまにも、この一年間温かくご協力いただき、深く御礼申し上げます。

ガバナー方針をクラブにお伝えする「橋渡し役」として、またクラブ運営を支援する立場として、どこまでお役に立てたかは分かりません。

しかし、各クラブの皆さまが、それぞれの地域課題に真摯に向き合い、創意工夫を凝らした奉仕活動を展開されている姿に触れるたび、私自身も多くを学び、大きな刺激をいただきました。

ガバナー補佐としての一年は一区切りとなりますが、この経験は私にとって大きな財産です。

これからも皆さまと共に、より良い地域社会の実現に向けて歩み続けたいと思います。

一年間、本当にありがとうございました。



一年を振り返って

2025-2026年度
第7グループ ガバナー補佐
関裕 (幸手)

—昨年、ガバナー補佐のお話をいただいた時、正直なところ「自分に本当に務まるのだろうか」という不安が先に立ちました。歴代の皆さまのご活躍を思うと責任の重さを感じ、最初の会長幹事会や公式訪問の前には、何度も資料を見返しながら緊張していたことを今でも覚えております。

しかしそのような中でも、各クラブの会長・幹事の皆さま、そして会員の皆さまに温かく迎えていただき、多くの励ましのお言葉を頂いたこと。また、熊木ガバナーの柔らかなお人柄や、中里ラーニングファシリテーターによるガバナー補佐研修を得て、少しずつ肩の力が抜け、自分らしく務めを果たそうと思えるようになりました。

この一年、各クラブを訪問させていただく中で、それぞれが地域社会のために真摯に奉仕活動へ取り組まれている姿に接し、多くの学びと感動をいただきました。また、会員増強やクラブ運営などの難しい問題に対しても、前向きに工夫を重ねている姿勢に大きな刺激を受けました。

そして、私にとって特に大きな財産となったのは、ガバナー補佐同士のつながりであります。同じ立場だからこそ分かり合える悩みや課題を共有し、励まし合いながら活動する中で、深い信頼関係を築くことができました。「一人ではない」と感じられたことは、この一年の大きな支えでした。

もちろん、至らない点や反省点も多くございましたが、皆さまの支えのおかげで無事に一年を終えることができました。心より感謝申し上げます。

結びに、この一年間ご支援、ご協力を賜りましたすべての皆さまに深く御礼申し上げますとともに、各クラブのさらなる発展と、会員皆さまのご健勝、ご活躍を心より祈念申し上げます。「一年を振り返って」の挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。



一年を振り返って

2025-2026年度
第8グループ ガバナー補佐
大熊 正行 (越谷北)

今から丁度二年ほど前に、戸田公園駅近くの中華料理店でガバナー補佐予定者の初顔合わせがありました。当時の熊木ガバナーノミーに福永地区幹事予定者とファシリテーター予定者の中里パストガバナー、各グループのガバナー補佐予定者が集結を致しました。数名の方とは面識が有りましたが、大半の方々は初対面でしたので、とても新鮮な場だったと記憶しています。夫々が自己紹介をしたのち熊木ノミーの思いやビジョンをお聞かせいただいた後に熊木年度一丸となって頑張らしよう!と氣勢を挙げたのちその場は解散をしました。

その後、熊木ガバナーエレクト年度に入ってから、中里地区ラーニングファシリテーターによるガバナー補佐研修を6度に亘り開催していただきました。ロータリーの知識や現状をみっちり叩き込んでいただき内容が濃く大変有意義な、しかも楽しい研修で大いに勉強をさせて頂きまして感謝に堪えない思いであります。

熊木年度になってからは、地区においてはあらゆるセミナーや各部門主催による事業等、様々な場面に参加させていただきました。また、12グループすべてのIMへの参加や多くのクラブの周年式典へ参加させていただきましたのもガバナー補佐ならではの特権と言っても過言ではなかったのではないのでしょうか?お陰様で各グループやクラブの地域性やカラー、特徴などを垣間見ることが出来ました。そしてまた、もちろん忘れてはならない自身の第8グループ IMの主催、更に会長幹事会の開催や各クラブ例会への訪問に各事業や様々な懇親会への参加で、大変多くの会員の皆様方と交流をさせていただきました。一年間ガバナー補佐を務めさせていただきすべてが大変貴重な経験となりました。特に印象深かったのは、第8グループの個性豊かでとても明るくノリが良い各クラブの会長・幹事の皆さんが競って自クラブを良くしようとの思いが強く伝わり第8グループに大いに活力を与えてくださいました。また不肖な私をいつどんな場面でも立てていただき常に、にこやかで友好的に接していただいたことです。

結びに改めて私と関わらせていただきました、熊木ガバナー、福永地区幹事、中里パストガバナー、地区役員の皆様、第8グループの会長幹事をはじめとする各クラブ会員の皆様、そして最初の出会いから約2年間に亘り切磋琢磨しながら仲良くさせていただきました同期のガバナー補佐の皆さんのお蔭で熊木年度の一年間を何とか全うすることが出来ました。皆様本当にありがとうございました。



一年を振り返って

2025-2026年度
第9グループ ガバナー補佐
高橋 裕 (八潮)

2025-2026年度国際ロータリー第2770地区第9グループガバナー補佐を務めさせて頂きました八潮RC所属の高橋裕です。

地区出向歴が浅く不安の中、熊本ガバナーや同期のガバナー補佐との初顔合わせからあつという間の二年間でした。自身がロータリーに入会してから今日まで諸先輩の方々から教えて頂いた知識や経験と、中里地区ラーニングファシリテーターから一年に亘る研修で学んだ知識を糧に「ガバナー補佐の役を知り、役に徹して、役を超えない」・「全5クラブを自身のクラブと認識し、寄り添う気持ちを持ち続ける」を基本姿勢として取り組んで参りました。

第9グループは、5クラブ(会員総数 期首102名)で構成され、他グループと比較して小規模なグループです。クラブの成長のために「不可欠な3つの柱」革新・継続性・パートナーシップが挙げられている中、クラブ

訪問を重ねるごとに、第9グループクラブ間の交流の少なさを感じ、「パートナーシップのパートナー」は、他団体だけではなく一番身近に存在している第9グループクラブ同士でもあると認識してもらいました。

例年、クラブ単位で行われております「ポリオ根絶啓蒙募金活動」では、今年度、第9グループ5クラブ合同で2日間(八潮エリア・草加エリア)開催致しました。共同事業は、「各クラブに気づき」をもたらします。子供やお母さん方に興味を持って頂く為の様々なグッズ(風船やご当地キャラクターの活用)を活用し、参加者の基盤を広める為に地元高校生への参加要請やボランティア認定書の授与など、各クラブの特徴を出し合った大変素晴らしい「第9グループ合同 ポリオ根絶啓蒙募金活動」でした。

そして、3月25日に開催しましたインターシティミーティングにおきましても、グループ共同事業である事(第9グループみんなのIM)を各クラブに認識して頂き準備を進めて参りました。「第9グループみんなで!よいことのために手を取りあおう」を合言葉に、参加人数にこだわり、全ての実行委員の皆様にも多大なご協力を頂きました事、感謝申し上げます。

最後に、私を支えて頂きました第9グループロータリアンの皆様、各クラブ事務局、米山記念奨学生、ガバナー補佐幹事の金杉様、同期のガバナー補佐の皆様、そしてホストクラブの八潮RCの皆様にご心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



一年を振り返って

2025-2026年度
第10グループ ガバナー補佐
若盛 圭恵 (松伏)

第10グループのガバナー補佐を務めさせて頂いたこの一年は、多くの学びと素晴らしい出会いに恵まれた、大変楽しく貴重な時間となりました。

今年度は、グループ内でクラブを超えた交流と会員増強、維持を目的とした活動に力を注いでまいりました。夏には新入会員候補者の皆さまを多数お招きして「第10Gアロハパーティ」を開催し、新年会も4クラブ合同にて開催いたしました。さらに新入会員・会員向けラーニングセミナー、ゴルフコンペ、そしてIMなど、グループ全体で顔を合わせる機会を多く設け、学びと親睦を深めると共にお互いの活動に刺激を受け合

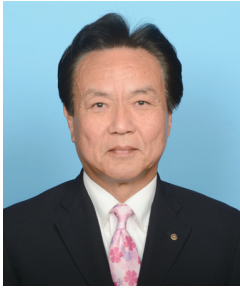
う、まさに「UNITE FOR GOOD」の一年であったと感じております。また、第10Gの会長・幹事のみなさま、補佐幹事にも大変恵まれ、毎回楽しく充実した会長幹事会を開催することができました。いつも温かいお気持ちでご協力くださいました第10G会長・幹事はじめ会員のみなさま、お一人おひとりに心より感謝申し上げます。

加えて、他グループのすべてのIMに参加させて頂き、私自身とても多くの学びがありました。さらに、素晴らしい同期の皆さまに出会えたことも大きな喜びであり、補佐として共に楽しく充実した時間は、私にとってかけがえのない宝物となりました。

熊本ガバナーをはじめ、中里ラーニングファシリテーター、福永幹事、そして同期の補佐のみなさまに感謝の気持ちでいっぱいです。

このように無事に補佐の務めを果たすことができましたのも、ひとえにみなさまのお力添えのおかげと心より感謝しております。

一年間、本当にありがとうございました。



一年を振り返って

2025-2026年度
第11グループ ガバナー補佐
鈴木 靖則 (川口東)

この一年間、第11グループガバナー補佐という大役を務めさせていただき、多くの学びと貴重な出会いをいただきました。振り返りますと、各クラブを訪問させていただき、それぞれのクラブが地域に根ざし、会員の皆様が熱意をもって活動されている姿に、幾度となく感銘を受けました。また、ロータリーの理念である「超我の奉仕」が、日々の活動で確かに実践されていることを実感いたしました。

一年間、今になってはとても短く感じております。多くの皆様のお力添え、ご理解、ご協力のおかげ様で、無事に務めを終えることができそうです。特に、各クラブ会長・幹事の皆さま、地区役員

の皆さま、そして、同期のガバナー補佐の皆さまには、お支えいただきましたことを心より感謝申し上げます。

私自身、この役を通して改めて「人とのつながり」の大切さを学びました。ロータリーは単なる奉仕活動団体だけでなく、人と人が信頼で結ばれ、お互いを高め合う場であることを、強く感じた一年でした。

至らぬ点も多々あったかと思いますが、皆さまからいただいた温かい励ましやご指導は私にとって大きな力となりました。

結びに、この一年間お世話になりましたすべての皆さまに深く感謝申し上げますとともに、各クラブの更なるご発展と、皆さまのご健勝、ご活躍を心より祈念申し上げ、感謝と御礼の言葉とさせていただきます。

ありがとうございました。



一年を振り返って

2025-2026年度
第12グループ ガバナー補佐
高松 良典 (蔵)

2025-2026年度国際ロータリー第2770地区第12グループガバナー補佐を務めさせていただきました。

今振り返りますと、自分がガバナー補佐が務まるかどうか、不安と緊張からのスタート。

私たち第12グループには、それぞれに長い歴史と文化を持ったグループであり、それぞれが、地域に根ざした奉仕活動を展開されています。

私のガバナー補佐の役割は、ガバナーの方針や地区からの情報を正確かつ丁寧伝えると同時に、各クラブの声を地区に届けるパイプ役であると思い、これを意識して行動して参りました。

各クラブへの補佐訪問、公式訪問への参加を

通じて、会員の皆様がロータリーの理念を真摯に体現し、活動されている姿に感銘を受けました。

11月15・16日地区大会への協力、地区ゴルフ大会のホスト役、そして令和8年1月27日(火)インターシティミーティングを開催しました。実行委員会の皆様と力を合わせて企画・運営し、たくさんの会員にご参加いただけたことには大変感動しましたし、大切な思い出になりました。

ご指導、ご支援いただいた、熊木ガバナーをはじめ福永地区幹事、各部門委員長、第12グループの会長、幹事、会員の皆様にあらためて御礼申し上げます。また同期のガバナー補佐の皆様、ありがとうございました。

そして私を支えていただいた小泉亘補佐幹事に感謝いたします。



一年を振り返って

2025-2026年度
ロータリーの友地区代表委員
大竹 純 (川口)

ロータリーの友地区代表委員として活動でき良かったと実感できた1年でした。不安もありましたが様々な経験ができました。

毎月レポート提出しなければならず、今までは目を通す程度だったのが隅々までじっくりと読み込まなければならず、記事を通じて日本のみならず世界の活動状況を知るいい機会になり、関心をもつことができました。そのことでロータリーの友の意義や重要性を実感しました。第2770地区を代表して投稿してくれました地区・クラブには感謝を申し上げます。所属する地区内の記事を読むことは大変うれしく思いました。

また例会にお招きいただき、ロータリーの友地区代表委員として卓話をさせて頂きました。大変貴重な経験になり、また話をする事で改めてロータリーの友の良さを感じることができました。ありがとうございます。

そして代表委員になってよかったと思えたことが、年に3回「友友会」という歴代のロータリーの友代表委員が集まる会があります。その会を通じてロータリアンとしてだけでなく、人と人との繋がりを感じられる会に出席出来たことが、何よりの財産です。

結びに、1年間、皆様のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。



一年を振り返って

2025-2026年度
地区行動計画推進リーダー
瀬田 秀樹 (八潮)

地区行動計画推進リーダーを拝命し、3年の任期のうち2年目という重要な節目を終えようとしております。まずは、この1年間、地区内各クラブの皆様からいただきました温かいご理解と多大なるご協力に、心より感謝申し上げます。

各クラブの皆様には、素晴らしいクラブビジョンと行動計画を作成していただき、大変うれしく思っております。当初は作成に抵抗のあるクラブさんもありましたが、見事にクラブ独自の行動計画が完成した報告をいただいた時の感動と喜びは何物にも代えがたい財産となりました。今後は出来上がった行動計画に沿ったクラブ運営に尽力していただき、年度終わりには

計画の進捗などの検証を行い、よりクラブに合ったアクションプランに修正していただけたら必ずクラブの活性化に必ず役立つと思えます。

また、クラブサポートミーティングでは参加クラブの皆様からクラブ運営や増強について、貴重なご意見を伺うことが出来ました。私自身も大変勉強になりました。熊木ガバナーもすべてのミーティングに参加していただき、とても親しみやすい的確なアドバイスやご意見など頂戴しながら、とても雰囲気の良い機会となりました。

変化を恐れず、楽しむ心を持って、未来の楽しいクラブを創り上げていきましょう。

1年間、本当にありがとうございました。そして次年度もどうぞよろしくお願いいたします。



一年を振り返って

2025-2026年度
管理運営部門委員長
柳沼 憲一 (幸手)

管理運営部門は「DEI・クラブ活性化委員会」「RLI運営委員会」「規定審議会検討委員会」の3委員会により構成され、それぞれ浜野委員長・諸喜田委員長・川井委員長のリーダーシップのもと14名の委員と共に活動をしてまいりました。本来であれば3委員会が委員会別に役割を担い活動を進めていく形となりますが、管理運営部門ではPELSや他セミナー、RLIに至るまで全委員会メンバーの積極的な関わりにより企画運営に邁進していただきました。普段は別クラブで活動をしているメンバーが各クラブからの出向により期間も限られた中での委員会活動ではありますが、委員会の枠を超え共に積極的に関わり協力し合い助け合いながらの皆様の行動には同じ年度に出向できた一員としてこの委員会を誇りに思いますと同時に感謝の念しかございません。

DEI・クラブ活性化委員会におきましては行動計画

の策定・運用の推進並びにクラブセントラルの積極的な活用に関して各クラブの皆様へお伝えをしてまいりました。

RLI運営委員会ではRLIパートIからパートIIIまでの開催運営を担っていただきおかげさまで平均参加人数70名という多くの参加者をお迎えすることができました。また、その開催の際にはファシリテーターとして24名の皆様にご協力をいただきましたこと重ねて感謝を申し上げます。

規定審議会検討委員会ではPELSやセミナーにて規定審議会で策定された内容を各クラブへ分かりやすく伝え浸透させていこうと務めていただきました。

クラブ会長の皆様、クラブ会員の皆様へお預かりをしている委員の皆様が日々前向きで積極的に楽しく活動できるよう、そしてその出向の経験をもってクラブに戻った際にクラブの一員として大きな力となれるように学びと実践を経験できるようにと常に心がけてまいりました。この出向の経験が自クラブでの活動や地域発展のお力になると確信しております。出向という形でクラブの仲間の貴重なお時間をいただきましたこと御礼申し上げます。

最後になりますが共に活動をしていただきました地区役員・委員会の皆様、会長を始めとするクラブの皆様、そしてこのような機会をいただきました熊木ガバナーへ感謝を申し上げます。1年間ありがとうございました。



一年を振り返って

2025-2026年度
公共イメージ部門委員長
青木 健志 (桶川イブニング)

2025-26年度公共イメージ部門を担当しました青木健志です。初めて部門委員長の役を頂き不安と責任の重さを実感しながらスタートしました。しかし3大セミナーを経験し乗り越えたことで、公共イメージのあり方を改めて理解するとともに、地区での役割などを理解するキッカケとなりました。特に、12グループのガバナー補佐や他の部門委員長の方々と顔を合わせる度に、皆さんの頑張りが励みとなり部門を進める上で原動力になったと思います。また3大セミナーの際、各クラブの皆様とグループディスカッションの中で情報共有をさせて頂いたところ、公共イメージの取り組みに対する意識付けにつながったようで、直近ではSNS等で発信するクラブが増え、投稿頻度も増したように感じます。さらに各クラブのオープン例会や各部門の取り組みを地区公式LINEでの情報発信を依頼頂く案件も増え、公共イメージ部門としてお役に立てたことは

大変嬉しく思いますし、地区として価値ある情報ツールに成長したと実感しています。

また地区大会で開催させて頂きましたフォトコンテスト、そして協賛を頂きました埼玉新聞へ掲載できたことは、会員の皆様のご協力に感謝するとともに、ロータリー内外に対し大きなインパクトにつながったと思います。また自分自身の大きな自信にもなりました。特に担当して頂いた地区副幹事にはいろいろとアドバイスを頂き助けて頂きました。

そして今年度のYouTube動画「未来の扉」は各部門の事業をメインに企画させて頂きました。入会まもない会員はもちろんのこと、ロータリアン以外の方々にも、ロータリーの特徴的な社会奉仕や青少年奉仕、国際奉仕、財団などの事業を知ること、よりロータリーを理解するキッカケになったと思います。また、クラブ例会で卓話替わりにご利用頂いているとのことお話しも伺えたことは価値ある取り組みになったと考えます。

結びに、役職のご指名を頂いた熊木ガバナーを始め、様々な場面でご協力を頂きました委員会メンバー、各クラブ、地区役員の皆様に感謝申し上げます。



一年を振り返って

2025-2026年度
会員増強維持部門委員長
渡辺 正文 (戸田)

本年度、会員増強維持部門を担当させていただきました渡辺正文です。

本年度は会員増強維持部門を会員増強委員会と会員維持委員会と分けて攻めと守りで活動して行きました。

ご周知の通り、RI、2770地区、66の各クラブにおいて会員増強は最も大事なテーマです。

しかし会員増強も大事ですが会員維持も同じくらい大事だと思っております。

8月の増強月間から各クラブ10クラブ以上卓話依頼を頂き、ご訪問させていただきました。

その中で感じた各クラブそれぞれのカラーや進め方があり、大変私自身も刺激になり、また勉強になりました。

部門メンバー全員で楽しく笑顔で活動をしていき、部門セミナー、会員増強イベント、会員維持イベント、共に大成功を納めた事に改めて感謝申し上げる次第です。

そして、会員増強維持部門へ出向して頂いた各メンバーの素敵な人間力、素晴らしい能力に改めてリスペクト致します。

「楽しい場所に人は集う」

この言葉を会員増強維持部門チームのテーマにしまして本年度活動した事が、私のロータリーライフの素晴らしい素敵な1ページになりました。

1年を振り返り、御協力、ご尽力頂きました皆様に感謝申し上げます。



一年を振り返って

2025-2026年度
職業奉仕部門委員長
請川 かおり (川口)

とかく難しいと言われる職業奉仕ですが、「自らが高潔な職業人たること」が職業奉仕の第一歩であることを理解していただくべく、PELSや地区クラブリーダーシップラーニングセミナーにて、アーサー・シェルドンの「もっともよく奉仕するもの、最も多く報われる」の解釈をはじめ、職業倫理の在り方についてお話させていただきました。加えて、1月の職業奉仕月間を中心に9つものクラブに卓話に呼んでいただき、職業は社会に奉仕する手段であることをお話させていただきました。

7月の部門セミナーでは、地区内ロータリアン皆様への「職場における高い倫理基準を促進する」ためのご提案として、2つのコンテンツを用意しました。一つは川口RC所属の社会保険労務士、村松朋恵氏による「働きやすい職場環境の構築で実現する!〜雇用主・従業員双方にメリットをもたらす労務管理のポイント」、もう一つは日本アンガーマネジメント協会ファシリテーター、島貫雄太氏による「アンガーマネジメント」です。参加型ラーニング形式で行うことで、出席の皆様には楽しく学んでいただけたことと思います。

さて、今年度の職業奉仕部門の活動の目玉は、11月に行った座談会、題して「いまこそ仕事の話をしよう〜語らずにいた仕事のことを」ではないでしょうか。この企画は、ガバナーからの「同じ地区内に仕事を頑張っている仲間がいることを知り、ロータリー活動へのモチベーションを高めるとともに、会員維持にもつながるような企画を考えてほしい」というリクエストに応えたものです。渡辺部門委員長をはじめとする地区会員増強維持部門の皆様にご尽力いただき、定員よりも多い82名もの登録を頂きましたことに、ここで改めて感謝を申し上げます。座談会には、メイクアップアーティストのイガリシノブ氏をお迎えし、基調講演では、華やかでかつ厳しい芸能界で生き残るための努力を楽しくお話いただきました。また、ローターアクターを含めた当委員会メンバーも壇上に上がり、仕事をしていくうえで何を大切にしているかについて話し合いました。ロータリアンとして恥じない仕事への姿勢に、話を聞かれた皆様には、何か感じるものがあったかと存じます。

尚、こちらの座談会は大変好評につき、6月6日に第2回目を開催予定です。今回は熊木ガバナーにご登壇いただき、ご自身の仕事に対するお考えを聞かせていただく予定です。

最後に、同期の部門委員長の皆様、地区職業奉仕部門メンバー達、楽しい1年間を共に過ごしていただき、本当にありがとうございました!毎度の懇親会、めっちゃ楽しかった!ロータリーという居場所で異業種の仲間と交流し、自身の仕事の理解、自分の存在価値を確認できたことは私の宝物です。そして、熊木ガバナーはじめ、地区役員の皆様、素晴らしいご活躍、本当にお疲れ様でございました。



一年を振り返って

2025-2026年度
社会奉仕部門委員長

三井 由美子 (浦和東)

地域社会奉仕委員会の活動を一言で表すと、「Enjoy Rotary!の体現」です。

前年度末より、セミナーや卓話で、ロータリーにおける社会奉仕活動について話しや意見を交わす機会がありました。その中で印象に残る言葉は、「ロータリークラブは『人づくり』である」です。地域社会奉仕委員会に出向してきた会員は、素晴らしく、お互いの個性を尊重し、得意分野を生かし、委員役割を主体的に担っていました。活動のひとつひとつが、良い思い出です。地区への出向がなければ、この仲間と出会うことがありませんでした。他業種で、地域のリーダーとして活躍し

ている人たちと一緒に活動ができたことは、とても勉強になり、楽しい一時でした。

ロータリークラブの大きな役割は、社会奉仕活動です。社会の困りごとをロータリークラブで役立つ活動をすることで、より良い社会づくりに貢献できる団体です。そこで、出会う仲間同士で、人間性も磨くことはできるとは、まさに「人づくり」の場でした。

最後に、社会奉仕部門先輩方々からの多大なる応援と同時に、熊木ガバナーをはじめ地区役員皆様とのご縁に深く感謝をいたします。1年間、どうもありがとうございました。



一年を振り返って

2025-2026年度
国際奉仕部門委員長

三藤 俊也 (春日部南)

私のこの一年(実質1年半)は、何もないところからの出発でした。人員・予算・時間の不足からくるバタバタ感。

これでちゃんとできるのか?と不安な船出でしたが、実際6人で奉仕も交流もやらねばならず、ワンチームで活動しました。

ただ、幸運なことに委員すべてが海外とのパイプを持っており、渡航経験も豊富な強者ぞろいでした。これら委員の結束により

最初に掲げていた 地区は地区の仕事をしよう! をある程度のレベルまで持っていくことができました。

具体的には言わなくても次年度の統括がもっと高めてクラブさんにフィードバックしていただけます。

地区にいたこの5年間の素晴らしい出会いに感謝するとともに、この仲間たちと一緒に仕事(活動?)できたことを誇りに思います。

国際奉仕部門はいつも勝手に突っ走っている! とのご意見もいただきますが、伸び伸びと活動することを温かく見守ってくれた熊木ガバナー他地区役員の方々にはお礼の言葉を述べさせていただきます、結びとさせていただきます。

今後も2770地区の発展を祈っております。



一年を振り返って

2025-2026年度
青少年奉仕部門委員長
星野 晃一郎 (大宮)

あっという間でしたが1年が終わりほっとしていません。事前の準備を就任よりだいぶ前に熊木ガバナーと福永地区幹事3名で話し合いをさせていただきました。改善点や問題点についてご指導いただいたことは本当に良かったと感じています。

青少年を取り巻く環境は大きく変化しています。RIの基準も大変厳しくなっています。9月の部門セミナーでは青少年奉仕の危機管理の動画を上映させていただきました。なかなか一度では身にならないかもしれませんが、意識改革の第一歩になればと思っています。また、同日にオリンピックの千葉すず様をお呼びすることができました。こちらも、海外に出る大切さと語学への向き合い方について貴重なお話をいただきました。

今年度はローターアクト特別推進部門と国際奉仕部門とも連携を強めて活動することを目標にしてきました。RAの方は合同で活動することは難しかったのですが、国際部門とは多くの場面で相互協力ができたと感じています。この点は次年度にも引き継いでいただきたいと思っています。

インターアクト委員会は鳥井委員長のもと、素晴らしいチームワークでした。2月の韓国訪日団受け入れ、3月の訪韓団の事前準備も例年とは違った取り組みを見せてくれました。今年度から日韓双方で学生による奉仕事業をすることが急遽決まりました。提唱クラブの越谷東RC様には大変お世話になりました。

青少年交換委員会は2年連続の山田委員長を筆頭に安定した運営をしていただきました。RIの推奨以上の委員が入り替わってしまったので、引き継ぎに時間がかかっていますがサポートメンバーの協力で無事引き継ぎは終わるかと思います。今年はIN、OUTとも早期帰国がなく例年よりは大変穏やかな年となりました。現在の派遣候補生も同様に留学生活が送れるように最後の準備をお願いしたいと思います。

RYLA委員会ですが、委員長不在のため私が兼務することになりました。一から勉強する気持ちで全国RYLA研究会大分会議に出席してきました。各地区で特徴ある活動をしていることが分かり、今後の参考のための引継ぎをしたいと思います。

総じて、大変忙しくはありましたが大きな問題や事故は無かったことが大変ありがたく思います。各委員会の委員の皆様にも恵まれて楽しく事業をすることができました。ただ、なかなか青少年奉仕事業の理解の輪が広がったかと言えばそうではなかったと思います。私の力不足だったと痛感しています。今後は地区には出ませんが、別な形でサポートを出来たらと考えています。一年間大変お世話になりました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



一年を振り返って

2025-2026年度
ロータリー財団部門委員長
福園 健 (川口モーニング)

クラブにおけるロータリー財団委員の役割は、会員に対し、財団への寄付とロータリー財団のプログラムへの参加を促すことです。

地区におけるロータリー財団部門の役割は、地区ガバナーの方針に基づき、寄付推進・補助金管理・奨学金・ポリオ根絶など財団に関する活動を計画し、地区全体で統一した運営ができるよう調整し、クラブを支援することです。

寄付の推進に始まり、補助金を活用した奉仕

活動、ポリオ根絶、財団奨学生の支援、平和フェロー学生の受け入れなどロータリー財団の活動は多岐にわたるため、慣れるまでは分かり辛いと言われるます。

それらをしつこくも丁寧に繰り返して地区内クラブの皆様にお伝えし続けることを役割として、来年以降も2770地区ロータリー財団部門の活動を継続できればと思います。

一年間、お付き合いいただきありがとうございました。



一年を振り返って

2025-2026年度
米山記念奨学部門委員長
小川 和義 (鴻巣イブニング)

本年度、米山記念奨学部門では、井原實パストガバナー(さいたま新都心RC)をアドバイザーにお迎えし、小平啓介増進委員長(大宮南RC)を中心とした米山記念奨学増進委員会7名、そして、田邊利幸選考委員長(上尾西RC)を中心とした米山記念奨学学友選考委員会4名、あわせて12名で活動いたしました。

米山記念奨学増進委員会の主な活動では、寄付の増進と米山記念奨学事業の目的を各クラブに推し進めるために、米山記念奨学生のクラブ訪問卓話を推進いたしました。延べ25名の奨学生がクラブ訪問卓話を行うことができました。受け入れて頂いたクラブには御礼申し上げます。

米山記念奨学学友選考委員会の主な活動では、2026学年度の米山記念奨学生の選考と配属クラブの決定を行いました。新規受け入れ枠29名の所、43名の応募があり、書類審査、面接を行いました。面接委員として面接にあたって頂いた、パストガバナー、ガバナー補佐、歴代部門委員長には大変ご苦勞をお掛けしましたが、優秀な学生を受け入れ、配属クラブを決める事が出来ました。

委員会全体事業として感謝の集い(クリスマス会)、入学式、修了式を開催し世話クラブと奨学生の融和を進めてまいりました。学友主催事業として春・秋バス研修旅行やクリーンナップウォーキング(世話人第6G大東悦巳ガバナー補佐)を委員会メンバー全員でサポートしてまいりました。

米山記念奨学生がロータリーファミリーの一員として日本と世界を結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍することを願っております。



一年を振り返って

2025-2026年度
ローターアクト 特別推進
部門委員長

浅沼 良成 (川口)

皆様ご承知のように、2019年のRI規定審議会以降ローターアクトを取り巻く環境は大きく変化し、その特性はロータリークラブと同等の解釈をされるようになりました。それゆえ、当地区においても2019年度より順次ローターアクトや各クラブへの活動面での助言や行政との折衝、機会の提供など多角的な支援だけでなく、ローターアクトの発展を目的にガバナー直轄のセクションとして支援体制の構築を図ってまいりました。

今年度におきましては、昨年度に引き続き地区補助金を活用した事業を展開したことで、企画立案から運営に至るまでの一連の業務ローターアクト自身に触れ、昨年度の実績を基に経験を

より育むことができたと考えております。これらの経験値は、岡村ガバナー年度より明確に示された目標である「グローバル補助金」を活用した事業に繋がる新たな糧となり、ロータリアンとの親交から生まれる連携や、既存する各種規程や実情に対する相互理解など、新たな事業の実現に向けた大きな一歩になると期待できます。

会員数やクラブ数も増えている流れのなかで、ローターアクトクラブの新設の検討や口卓話のご依頼など、昨年度以上に皆様がローターアクトに寄せる関心が高いと実感しております。是非とも引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

TOPICS

ロータリー財団奨学生 大野元裕埼玉県知事を訪問

2026年5月19日

国際ロータリー第2770地区では、ロータリー財団奨学生による埼玉県知事表敬訪問を実施しました。

当日は、奨学生とともに熊木雄太郎ガバナー、パストガバナーの皆様も埼玉県庁を訪問し、大野元裕埼玉県知事と懇談を行いました。

懇談では、ロータリー財団奨学金制度の趣旨である国際親善や人材育成について説明するとともに、留学を通じて地域と世界を結ぶ役割への期待が共有されました。また、奨学生らは埼玉親善大使として委嘱を受け、それぞれ留学への抱負を語っていました。

今回の表敬訪問の様子は埼玉新聞にも掲載されました。ロータリークラブの国際奉仕活動や青少年育成事業が地域社会に広く紹介される機会となりました。



TOPICS

第5グループインターシティミーティング開催

2026年2月20日

RI2770地区で最多9クラブの第5グループでは、各クラブの活動報告だけでも10分として1時間半かかります。当初は活動報告だけでも、とは思いましたが今年度、最重点課題が会員増強というところで、それでは活動報告を兼ねてクラブPRというテーマでパワーポイントを作ってもらい、発表するという企画で各クラブにお願いしました。

半年の活動報告でスタートしたところもあったようですが、修正をかけて今までの活動でPRしたいところをつけ足して完成に近づけたのかと思いました。当日原稿のアップデートをしたクラブもありました。さらにアップデートをして会員増強のためのPRのツールとして活用していただければと思います。

IMといえば懇親会、会場を3階大会議室に移し、今回小ホールでの参加人数が150名を超えています。クルーズ船と違い少し人数が減ったようですが、ほとんど懇親会場に移動していただけたようです。

熊谷市妻沼出身の車いすのシンガーソングライター森圭一郎氏を招き、場を盛り上げていただきました。

最後皆様で手に手をつないで散会となりました。

第5グループガバナー補佐 松本 安永(鴻巣水曜RC)



TOPICS

第11グループインターシティミーティング開催

2026年3月19日

本年度の第11グループ インターシティミーティングは令和8年3月19日に多くのご来賓をお迎えして開催され、7クラブ、各クラブ会員が一堂に会し、ロータリーの理念の共有と地域社会への奉仕について理解を深める、大変有意義な機会となりました。

当日は、基調講演並びに各クラブの活動報告が行われ、それぞれの地域に根ざした特色ある奉仕活動や、会員増強活動、青少年育成活動への積極的な取り組みが紹介されました。どの発表からも、地域社会への強い使命感と、ロータリー活動に対する熱意を感じることができました。また、クラブ間の交流を通じて、互いの活動を学び合い、連携を深めることの重要性を強く感じました。

第二部の懇親会では、各クラブ会員が和やかな雰囲気の中で親睦を深め、活発な交流が行われました。日頃なかなか交流する機会の少ない会員同士が意見交換を行い、それぞれのクラブ活動や地域での取り組みについて情報共有を図ることができました。特に、奉仕活動や会員増強に関する話題では、多くの有意義な意見が交わされ、今後のクラブ運営において参考となる内容が多くありました。また、世代やクラブの垣根を超えた交流も生まれ、ロータリーの友情と連携感を改めて感じました。懇親会を通じて築かれた繋がりを今後の活動に繋げていきたいと思っております。

ガバナー補佐経験者として、今後も各クラブとの連携を大切にしながら、地区活動の充実とクラブ運営の支援に努めてまいります。また、本ミーティングで得た学びと気づきを、今後の活動に活かし、より良いロータリー活動に繋げてまいりたいと考えております。

結びに、本ミーティング開催にあたり、ご尽力いただきました実行委員長をはじめ、実行委員会の皆さま、関係各位に心より感謝申し上げます。

ありがとうございました。

第11グループガバナー補佐 鈴木 靖則(川口東RC)



TOPICS

つながるサッカープロジェクト ～浦和北 RC～

2026年3月14日

つながるサッカープロジェクトで広がる地域と青少年の交流

3月14日、浦和北ロータリークラブは、県立浦和西高校サッカー部員有志14名と認定NPO法人さいたまユースサポートネットの協力のもと、困窮や孤立などの困難を抱える小中学生18名にサッカーを教える「つながるサッカープロジェクト」を実施しました。

当クラブは、青少年奉仕・社会奉仕の継続的な活動として、長年にわたり同団体への支援を行ってきました。これまで合唱会の開催や楽器寄贈に加え、ドラムやギター、ピアノの指導による音楽活動の育成支援、食材支援、寄付、収穫祭など、多様な形で子どもたちに寄り添ってきました。

今回はその新たな展開として、子どもたちの居場所づくりと地域とのつながりを目的に、浦和西高校サッカー部員、小中学生、ロータリアンによるサッカー交流を実施しました。

当日は、高校生が主体となり、小学生もロータリアンも一緒に総勢55人が準備運動からパス練習、ドリブル、シュート練習を行い、その後は世代を超えた混合チームによるミニゲームを実施しました。初めは緊張していた子どもたちも、高校生の優しい声かけにより次第に打ち解け、グラウンドには笑顔と活気が広がりました。

昼食は、当クラブの支援により用意した弁当を囲み、小中学生は仲間と、高校生とロータリアンはブルーシートに輪になって座り、食事をしながら交流を深めました。









認定NPO法人さいたまユースサポートネット専務からは「外で思いきり体を動かす機会が少ない子どもたちだが、生き生きと楽しんで」との言葉が寄せられました。また、浦和西高校サッカー部2年の架間さんは「子どもたちの感情が豊かで楽しかった。今後も地域と関わりたい」と語ってくれました。








本事業は、スポーツを通じた青少年奉仕と地域連携の可能性を実感する機会となりました。

浦和北ロータリークラブ 青少年奉仕委員長 小山茂美





ロータリー財団

大口寄付 \$154,000.00	大口寄付 \$25,500.00	大口寄付 \$22,051.58	大口寄付 \$19,800.00	大口寄付 \$19,500.00	大口寄付 \$18,503.21	大口寄付 \$18,000.00
						
近藤 義一 (幸手) 令和8年2月16日	飯野 耕司 (大宮) 令和8年3月30日	大野 祐肇 (越谷東) 令和7年11月27日	橋本 和久 (大宮) 令和8年3月27日	遠藤 省吾 (大宮) 令和8年3月27日	清村 忠雄 (越谷東) 令和7年11月27日	近藤 敬男 (蓮田) 令和8年2月25日

ロータリー財団

大口寄付 \$17,800.00	大口寄付 \$15,425.64	大口寄付 \$14,339.63	大口寄付 \$11,325.00	大口寄付 \$11,000.00	マルチプル (8)	マルチプル (7)
						
永嶋 良一 (大宮) 令和8年3月27日	齋藤 守毅 (大宮) 令和8年3月27日	平野 武志 (越谷東) 令和7年12月22日	丹田 益生 (越谷) 令和8年3月24日	松田 繁三 (越谷) 令和8年3月24日	山口 光男 (鴻巣水曜) 令和8年2月12日	会田 皓章 (越谷東) 令和8年3月12日

ロータリー財団

マルチプル (6)	マルチプル (6)	マルチプル (5)	マルチプル (4)	マルチプル (3)	マルチプル (3)	ポール・ハリス・フェロー
						
浜野 隆浩 (越谷東) 令和7年11月27日	深井 良孝 (越谷南) 令和7年12月26日	守屋 トミー (越谷東) 令和7年11月27日	秋山 担 (越谷東) 令和8年3月12日	三浦 守 (大宮) 令和8年3月27日	山本 太輔 (幸手) 令和8年2月16日	佐口 盛人 (大宮中央) 令和8年1月16日

ロータリー財団

ポール・ハリス・フェロー	ポール・ハリス・フェロー	ポール・ハリス・フェロー	ベネファクター	ベネファクター
				
畔上 順平 (越谷東) 令和8年3月12日	磯 早苗 (上尾西) 令和8年2月27日	山田 光彦 (上尾西) 令和8年2月27日	小暮 直正 (越谷) 令和8年3月24日	隅田 諭司 (越谷東) 令和8年1月16日

米山奨学会

米山功労者メジャードナー (21)	米山功労者メジャードナー (21)	米山功労者メジャードナー (13)	米山功労者メジャードナー (12)	米山功労者マルチプル (5)	米山功労者マルチプル (4)	米山功労者マルチプル (4)
						
平野 武志 (越谷東) 令和7年12月22日	清村 忠雄 (越谷東) 令和7年12月22日	大野 祐肇 (越谷東) 令和7年12月22日	飯野 耕司 (大宮) 令和8年4月28日	会田 皓章 (越谷東) 令和8年3月2日	芦葉 武尊 (幸手) 令和8年2月4日	山本 太輔 (幸手) 令和8年2月4日

米山奨学会

 米山功労者マルチプル(3) 伊藤 操 (さいたま櫛) 令和8年3月26日	 米山功労者マルチプル(3) 柳 寿美恵 (浦和北東) 令和8年3月31日	 米山功労者マルチプル(2) 佐久間 誠 (越谷東) 令和8年3月2日	 米山功労者マルチプル(2) 柳沼 憲一 (幸手) 令和8年2月4日	 米山功労者 平岡 絢也 (さいたま櫛) 令和8年4月20日	 米山功労者 橋本 政行 (越谷東) 令和8年3月2日	 米山功労者 内田 剛史 (川口) 令和8年2月17日
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

米山奨学会

 準米山功労者 横尾 英明 (上尾西) 令和7年9月30日	 準米山功労者 高山 禎章 (さいたま櫛) 令和8年3月26日
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

新 会 員

 大熊 禎子 (さいたま新都心) 令和8年2月2日入会 篠工ツ子税理士事務所 税理士	 大平 圭一 (八潮) 令和8年2月10日入会 ソニー生命 生命保険業	 長竹 嘉昌 (川口モーニング) 令和8年2月14日入会 ㈱長竹コーポレーション 建築業	 中田 弘 (川口モーニング) 令和8年2月21日入会 中田造園(株) 造園業	 高山 禎章 (さいたま櫛) 令和8年3月1日入会 ㈱ LAD 建築設計・不動産	 井上 学 (大宮西) 令和8年3月2日入会 ㈱大宮 総合支援センター 障害者福祉事業	 小嶋 陽 (大宮西) 令和8年3月2日入会 Safe Communications ㈱ サービス業
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

新 会 員

 北西 琢磨 (上尾西) 令和8年3月4日入会 ㈱レーベンコーポレーション 不動産業	 渡邊 貴子 (浦和北) 令和8年3月4日入会 ファイナンスアライアンス(株) 保険	 児玉 浩孝 (大宮) 令和8年3月11日入会 ㈱ JTB 埼玉支店 旅行業	 浦口 修一 (川口/鳩ヶ谷武南) 令和8年3月11日入会 修建工業 外構工事業	 大場 貴文 (越谷) 令和8年3月24日入会 ㈱アド・イーグルホールディングス 広告代理業	 鈴木 慶太 (さいたま中央) 令和8年3月26日入会 医事法人三慶会 指扇病院グループ 医師・理事長	 仁科 江里子 (さいたまシティ) 令和8年4月1日入会 ㈱アルテ 職別工事業
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

新 会 員

 松井 寛 (春日部イブニング) 令和8年4月2日入会 ISM (株) 教育	 金子 英明 (春日部イブニング) 令和8年4月9日入会 ㈱エス・ディー・エス オフィス内装工事、通販事業	 小貫 好弘 (川口) 令和8年4月9日入会 ㈱小貫金網製作所 金属加工	 山田 直人 (三郷) 令和8年4月14日入会 (有)白石建築設計事務所 建築設計	 遠藤 沙弥香 (川口) 令和8年4月16日入会 野村證券(株)川口支店 証券	 内田 誠一 (川口) 令和8年4月16日入会 パナソニックホームズ(株)関東支社 建設業	 新藤 孝彰 (川口) 令和8年4月16日入会 川口ふたばこども園 教育・保育
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

新 会 員



木下 竜也
(浦和)
令和8年4月17日入会
ニューゲート㈱
警備設備



原 豊
(浦和東)
令和8年4月23日入会
三井信託銀行㈱
金融 / 銀行



須藤 和彦
(浦和東)
令和8年4月23日入会
朝日生命保険相互会社
保険 / 生命保険



金本 俸謙
(浦和東)
令和8年4月23日入会
金本建設㈱
建設 / 土木解体



徳永 光彦
(大宮西)
令和8年4月27日入会
大和ハウス工業㈱北関東支店
建設業



國分 洋太
(川口東)
令和8年4月28日入会
㈱国商
住宅建築



有明 京子
(三郷)
令和8年4月2日
ご逝去
享年70歳

訃
報

謹んでお悔やみ
申し上げます。



“回転ドア”は止められているか

第1地域 ロータリー会員増強コーディネーター補佐 大高 司郎（高萩 RC）

会員を迎えても、やがて送り出してしまう。
その繰り返しとなっていないでしょうか。

会員増強に取り組んでいるにもかかわらず、クラブの手応えが変わらないとすれば、その要因は「増えていない」ことではなく、「定着していない」ことにあるのかもしれません。本年度より第1地域ロータリー会員増強コーディネーター補佐(ARMC)として活動し、間もなく一年を迎えますが、各地区・各クラブの取り組みに触れる中で、その傾向を強く実感しています。会員維持の観点から見ると、退会は12月末、3月末、6月末に集中する傾向があり、特に6月末に顕著です。この時期を経て、会員数が伸び悩むクラブも少なくありません。いわゆる「回転ドア」の状態にあると言えます。



会員が増えないのではなく、定着していないのではないか。
この視点に立つと、取り組むべき課題はより明確になります。

退会の背景には、時間的・経済的負担や期待とのギャップが挙げられます。しかし、その現れ方はクラブごとに異なります。したがって、「なぜ自クラブにおいて退会が生じているのか」を具体的に捉えることが重要です。さらに、在籍年数の長い会員の退会も見受けられます。長年クラブを支えてこられた方が離れるという事実は、クラブの在り方そのものを問いかけています。加えて、クラブそのものがRIから脱会する事例も増加傾向にあり、この問題はクラブ単位にとどまらず、組織全体の持続性にも関わる課題となっています。

この一年、「会員増強・維持」「衛星クラブ設立」「クラブ優秀賞へのチャレンジ」に関する関心は確実に高まっています。それにもかかわらず「回転ドア」が止まらなるとすれば、問題は別のところにある可能性があります。

クラブは、会員を増やすことで強くなるのではなく、会員が残ることで強くなる。
この前提に立てば、まず取り組むべきことは明らかです。
自クラブにおける退会の傾向と背景を的確に把握すること。
その要因に真摯に向き合い、具体的な改善を積み重ねていくこと。

たとえば、入会後のフォローの在り方、例会への参加のしやすさ、会員相互の関係性、さらには経験豊かな会員がどのように関わり続けられているかなど、日常の運営を改めて見直すことが有効です。こうした取り組みの積み重ねこそが、「回転ドア」を止める確かな道筋となります。

一人ひとりが「このクラブにいて良かった」と感じ続けられるか。
その問いに、今こそ真摯に向き合うときではないでしょうか。



信頼をつなぐ公共イメージ

第1地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 細淵 雅邦（浦和 RC）

私たちロータリーの活動は、長年にわたり各クラブの皆さまが積み重ねてこられた奉仕と信頼の上に成り立っています。地域に根ざした誠実な取り組みの一つひとつが、今日の確かな評価と公共イメージを形づくってきました。ロータリー公共イメージコーディネーターチームの活動も、まさにその歩みの延長線上にあるものだと感じています。



近年は、情報発信の手段が広がり、各クラブの素晴らしい活動がより多くの方々に届くようになりました。

こうした発信は、ロータリーの認知を高めると同時に、本来の大きな課題である会員増強にもつながっていく重要な要素です。活動の魅力や価値が適切に伝わることで、新たな仲間との出会いが生まれ、ロータリーの輪が自然と広がっていく、その一端を公共イメージが担っていると感じています。その一方で、情報の広がりが大きくなった。

時代だからこそ、発信や対応のあり方に対する意識も、これまで以上に大切になってきています。ここで私が大切にしたいと考えているのが「危機管理」の視点です。

これは何か問題があるから取り組むものではなく、これまで築かれてきた信頼を守り、安心して活動が続けていくための基盤となるものです。適切な備えや意識の共有があることで、日々の活動はより安定し、外部からの信頼もさらに深まっています。公共イメージの取り組みと、こうした危機管理の意識は、いわば両輪の関係にあるのではないのでしょうか。活動の魅力をしっかりと伝えていくこと、そしてその活動を安心して継続できる環境を整えること。この二つがそろうことで、ロータリーの価値はより確かなものとなり、結果として持続的な発展へとつながっていくものと感じています。

私たちロータリー公共イメージコーディネーターチームでは、オンラインミーティングを通じて、地区を越えた情報共有や意見交換を行っています。ここで共有される内容には、各地の実践に基づいた具体的な事例が多く含まれており、日々の活動に無理なく取り入れられるものばかりです。ブランドの適切な扱い方やメディア対応の基本、そして落ち着いた対応の大切さなど、こうした学びの積み重ねが、各クラブの活動をより安心して力強いものに行っていると感じています。

これまで築かれてきた信頼という土台の上に、公共イメージの取り組みと適切な備えを重ねていくこと。

その積み重ねが、ロータリーの魅力をさらに高め、新たなつながりを生み、より良い未来へとつながっていくものと確信しています。



“人が役を創り、役が人を創る“

第2地域 ロータリー財団地域コーディネーター 伊藤 靖祐（江南RC）

ロータリー財団地域コーディネーター(以下 RRFC)は地区やクラブのロータリー財団活動をサポートする役割を担っています。また、地区ガバナー、ガバナーエレクトを対象とした数々の Learning Seminar を担当し、補助金の活用支援、寄付の推進やリソースの開発をしていきます。第1～3地域の RRFC は大変仲が良く連携が取れており、日本の目標を設定しています。会員一人当たり年次基金150ドル、ポリオプラス30ドル、また年次基金への寄付ゼロのクラブをゼロとする目標を立て、第2地域では能登半島地震時を除き、その目標はすべて達成しており、第2地域の全てのロータリー会員の皆様に感謝です。第 2610 地区の全てのクラブにおかれましては震災後の 2025-26 年度には年次基金の目標も達成されており、尊い寄付活動に敬意を表するばかりです。RI から第2地域の年次基金寄付ゼロクラブゼロは高く評価されています。



今後の財団活動に関する戦略として、RRFC はロータリー財団地域セミナー、クラブ活性化セミナーで提案させていただいております通り、①DDF の有効活用 ②恒久基金の戦略的運用を掲げています。①については、5年を超えて未使用である DDF は、ロータリー財団の World Fund へ自動的に組み入れられてしまいますので、各地区での戦略を立てて有効活用する必要があります。②については、恒久基金—シェアへの寄付は、計画的に積み立てていけばその運用益は毎年地区に分配されるので大きな運用財産となります。ロータリー財団(TRF)における恒久基金の運用利回りは年率7%を超えていますので、恒久基金を各地区の Mather Fund と捉えやはり地区の戦略が求められます。

最後になりましたが、本年 6 月末を以って第2地域 RRFC の3年の任期を全うすることができます。ロータリー財団地域セミナー、ロータリー研究会、クラブ活性化セミナー、ガバナーエレクト・ラーニングセミナー等で皆様と出会い、多くの経験をさせていただき、私もラーニングさせていただきました。すべての方との出会いと機会に感謝です。「人が役を創り、役が人を創る」という言葉があります。組織における責任と個人の成長の本質を突いた深い洞察だと思います。組織の中で人は役を創るわけですが、その役に新しい価値や独自のスタイルを取り込むことで役の主体性や革新性を織り込んでいきます。そして創られた役に就くことでその人は否応なしに変容を迫られ、結果として視座の変化と人の器が押し広げられていきます。たとえ最初は役という形を演じることから始まったとしても、その責務を果たそうと日々研鑽を積むうちに、いつしかその振る舞いが本質に変わっていきます。ロータリーはまさに「人が役を創り、役が人を創る」組織です。出会った全ての人に感謝し、この言葉で締めくくらせていただきます。ありがとうございました。



1 「受けた恩を次世代へ」米山学友からの高額寄付

米山奨学生として受けた支援を、次世代の奨学生へつないでいきたい、との思いから、当財団へ500万円の寄付をしてくださった台湾出身の米山学友、ウィリアム ファンさん（1998-99/海老名樺RC）のメッセージをご紹介します。

【ウィリアム ファンさん】



奨学生時代、世話クラブの皆さまからの温かい歓迎とご支援を受け、「受けた恩を次世代へつなぐ」ことの大切さを学びました。この気持ちを形にしたいと思い、寄付させていただきました。当時を振り返ると、例会で受けた温かいおもてなしや、私の近況を常に気にかけてくださった会員の皆さまの優しさが深く心に残っています。

他者が自分に与えてくれたポジティブな影響を「忘れない」ことが何より大切だと思います。だからこそ、米山学友として寄付することに大きな意味があると思います。米山奨学事業が米山奨学生に注いでくれる支援に対し、私の小さな貢献が共感を呼び、他の学友たちもそれぞれの立場で恩返しを考えるきっかけになれば幸いです。それが結果として、日本と母国との架け橋を築くという米山奨学会の目的を前進させることにつながると信じています。

勉学に励む米山奨学生の皆さんには、米山奨学会やロータリー会員の皆さまが示してくれた善意とサポートを忘れないでいただきたいです。そしていつの日か、あなたなりの方法でその「恩」を次世代へとつないでいってください！

奨学に励む米山奨学生の皆さんには、米山奨学会やロータリー会員の皆さまが示してくれた善意とサポートを忘れないでいただきたいです。そしていつの日か、あなたなりの方法でその「恩」を次世代へとつないでいってください！

2 博士号取得状況

2025学年度に博士号を取得した奨学生は30人、学友は18人となり、これまでの累計は4,275人となりました（5月1日現在）。

米山記念奨学会では、博士号を取得された奨学生・学友の皆さまへお祝いとして腕時計を贈呈しています。裏ぶたに氏名を刻印した世界に一つだけの記念品です。なお、クラブ会員の皆さまに米山奨学事業の成果をご報告いただく機会として、原則としてクラブ例会での贈呈をお願いしております。これをきっかけに学友との交流が再開されたとの報告をいただくこともあります。博士号を取得された奨学生・学友がいらっしゃいましたら、当財団事務局までご一報くださいますようお願い申し上げます。



文字盤の裏に氏名を刻印

申請方法

- ・奨学期間終了後の取得でも対象です
- ・お届け先は、原則として世話クラブです（納品まで約2～3週間かかります）

「学位記の写し」もしくは「学位取得証明書」と、当財団書式「博士号取得報告書」の2点を世話クラブから米山奨学会へメールやFAXなどで送信（FAX:03-3578-8281/email: alumni@rotary-yoneyama.or.jp）

3 寄付金速報 — 今年度も残り1カ月半 —

前年同期比

-2.4%

普 +0.5% 特 -3.9%

4月末までの寄付金は、前年同期と比べて2.4%減（普通寄付金：0.5%増、特別寄付金：3.9%減）、約2,800万円の減少となりました。

た。創立記念寄付として14クラブより計185万円の特別寄付をいただいたほか、100万円を超える大口寄付が3件ありました。皆さまからのご支援に、心より厚く御礼申し上げます。今年度も残りわずかとなりましたが、当事業へのご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

4 同じクラブから2人同時に紺綬褒章受章

第2760地区知立RCの大橋均氏と安井喜秀氏が、2025年11月22日付で紺綬褒章を受章しました。同一クラブから2人同時に受章されるのは、当財団では初となります。

4月22日の同クラブ例会にて、褒章伝達式が行われ、出席した当財団の神野重行常務理事か

ら褒章が伝達されました。

紺綬褒章は、公益のために私財を寄付し、その功績が顕著な個人または団体に対して天皇陛下より授与される褒章で、当財団は2018年9月に紺綬褒章の公益団体認定を受けています。受章された皆さまに、心よりお祝い申し上げます。

5 米山奨学生を連れて奉仕活動へ

2月28日から3月3日にかけて、第2590地区横浜鶴見北RC会員を中心とする16人が、同クラブの米山奨学生の母国であるマレーシア・ペナン島を訪問しました。

現地では、障がい者就労支援施設を訪問し、活動資金を寄付したほか、バティック染めなどの活動を視察し、参加者も製作を体験。また、



滞在中にはマレーシア米山校友会の学友たちとの夕食会が開催され、翌週に控えていた同学友会総会へのお祝いを手渡すとともに、各地で活躍する学友たちの近況に耳を傾けました。

同クラブでは毎年、米山奨学生や学友と共に奉仕活動を続けています。かつて世話をしたベトナムやタイの米山学友とも深い縁が続いており、現地での奉仕活動や、災害時の支援を学友に託すなど、強い信頼関係を築いているそうです。

参加した石渡宏衛会員は、「学友を介して、現地で本当に支援を必要としている方々に直接会うことができます。共に活動することでクラブ内の米山奨学事業への理解もより一層深まっています」と語り、学友と行う国際奉仕の意義を再確認する機会となりました。

6 米山学友がロータリー入会、そしてカウンセラーに

今回は、かつての世話クラブに入会し、今年度から米山奨学生のカウンセラーを務めることとなった韓瑜さん(2013-14/東京米山友愛RC)のインタビューをご紹介します。

【韓瑜さん】

米山奨学生としての期間終了後、校友会活動を通じてロータリーのつながりの強さに感銘を受け、クラブの先輩方にお声がけいただいたことで、入会を決めました。以前は支援を受ける側でしたが、会員となった今は「恩返しをしたい」という思いをより強く持っています。奨学期間終了から12年という月日を経て、再びロータリーの原点に立ち、「初心忘るべからず」を銘として再出発できることを嬉しく思います。今回、カウンセラーという役割を受けるにあたり、



米山奨学生と記念の一枚を撮る韓瑜さん(左)

本当に光栄です。奨学生時代に心に蒔かれた種が、歳月をかけてようやく開花したと感じています。私がバトンを受け取り、事業の伝承に貢献できることは大きな意義があります。留学経験という共通点を持つ奨学生をサポートし、共に成長しながら、日本と世界を結ぶ架け橋になれるよう尽力したいです。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F

Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281

E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp

URL : <https://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

編集担当 : 長尾(ながお)

2025-2026 年度 4 月 会員数報告

クラブ名	2025年 7月1日 現在		当月末 会員数		増減	目標 純増	通算 入会
	内 女性		内 女性				
浦和	101	4	103	3	2	5	8
浦和東	99	15	101	16	2	3	6
浦和南	24	2	26	3	2	3	2
浦和中	33	5	30	4	-3	3	0
浦和ダイヤモンド	21	3	23	4	2	4	2
第1グループ計	278	29	283	30	5	18	18
浦和北	57	4	59	6	2	10	3
さいたま中央	41	2	41	1	0	10	2
さいたまシティ	21	1	24	4	3	5	3
浦和北東	42	3	42	3	0	5	0
さいたま新都心	33	0	34	1	1	5	1
第2グループ計	194	10	200	15	6	35	9
大宮	55	2	50	2	-5	5	4
大宮南	35	8	33	7	-2	2	2
大宮中央	34	4	36	5	2	18	2
大宮シティ	39	4	40	4	1	8	2
さいたま櫨	30	4	31	4	1	3	1
さいたま大空	13	5	15	7	2	2	2
第3グループ計	206	27	205	29	-1	38	13
大宮西	113	17	117	18	4	8	8
岩槻	25	3	25	3	0	5	1
大宮東	37	2	38	2	1	5	1
岩槻東	21	3	20	3	-1	3	0
大宮北東	8	1	9	1	1	4	1
第4グループ計	204	26	209	27	5	25	11
上尾	33	0	33	0	0	3	0
鴻巣	21	4	18	4	-3	2	0
桶川	20	0	20	0	0	2	1
上尾西	31	3	32	3	1	3	3
北本	5	1	6	1	1	3	1
上尾北	20	0	25	0	5	3	5
鴻巣水曜	25	0	29	0	4	5	4
桶川イブニング	24	3	26	4	2	3	2
鴻巣イブニング	21	2	27	4	6	5	6
第5グループ計	200	13	216	16	16	29	22
春日部	26	2	26	2	0	2	1
杉戸	33	3	32	4	-1	3	1
春日部西	26	1	25	1	-1	3	1
春日部南	27	0	25	0	-2	3	1
春日部イブニング	41	2	43	2	2	4	3
第6グループ計	153	8	151	9	-2	15	7

ローターアクトクラブ

クラブ名	7/1会員数	当月末	増減	クラブ名	7/1会員数	当月末	増減
大宮	1	1	0	大宮南	11	11	0
浦和北	12	15	3	蓮田	5	5	0
獨協大学	4	4	0	川口/鳩ヶ谷武南	11	18	7
大宮東	3	2	-1	戸田中央看護専門学校	123	123	0
文教大学	5	8	3	川口モーニング	7	6	-1
共栄大学	54	46	-8	大宮西	6	18	12
川口	13	11	-2	ローターアクト計	254	268	13

クラブ名	2025年 7月1日 現在		当月末 会員数		増減	目標 純増	通算 入会
	内 女性		内 女性				
幸手	22	1	16	1	-6	3	0
蓮田	43	3	43	3	0	3	0
久喜	50	7	51	7	1	3	2
幸手中央	13	1	13	1	0	1	0
第7グループ計	128	12	123	12	-5	10	2
越谷	92	6	99	8	7	5	8
越谷南	37	4	41	6	4	6	7
越谷北	48	2	51	2	3	3	4
越谷東	74	5	77	4	3	5	5
第8グループ計	251	17	268	20	17	19	24
八潮	23	2	23	2	0	2	1
八潮イブニング	10	0	10	0	0	3	0
八潮みらい	17	1	17	1	0	2	1
草加松原	35	3	37	4	2	9	3
草加シティ	17	6	12	4	-5	5	0
第9グループ計	102	12	99	11	-3	21	5
三郷	30	4	28	5	-2	2	3
三郷中央	19	2	17	2	-2	3	0
松伏	18	2	19	2	1	2	1
吉川中央	14	3	17	3	3	3	3
第10グループ計	81	11	81	12	0	10	7
川口	88	18	90	17	2	5	8
鳩ヶ谷	14	0	14	0	0	10	0
川口東	23	3	23	2	0	6	1
川口/鳩ヶ谷武南	22	3	26	3	4	2	4
川口モーニング	30	2	31	3	1	5	4
川口南	15	4	15	4	0	2	1
川口シティ鳩ヶ谷	6	2	6	2	0	2	0
第11グループ計	198	32	205	31	7	32	18
戸田	50	7	56	8	6	10	8
蕨	15	2	17	3	2	2	2
川口西	11	0	11	0	0	2	0
戸田西	18	1	21	1	3	2	5
川口北	28	1	31	4	3	5	4
川口中央	11	1	11	1	0	1	0
川口むさし野	19	4	18	4	-1	2	0
第12グループ計	152	16	165	21	13	24	19
地区合計	2147	213	2205	233	58	276	155
参考：2025年当月地区合計	2200	205	2236	220	36	184	169

ロータリークラブ数	66RC
2025年当月末会員数	2205人
ローターアクトクラブ数	13RAC
2025年当月末会員数	268人
RC+RAC会員数	2473人



国際ロータリー第2770地区事務所

〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂 1-2-1-116 エイベックスタワー東館1階

TEL : 048-827-0022 FAX : 048-827-0011

E-mail : ri2770@ri2770.com URL : http://www.ri2770.com